

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時における避難誘導の方法や天災時に備えての準備が不十分な面がある。地域防災ネットワークを活用出来るようにしたい。	災害時のマニュアルの見直しを行い、職員間で徹底していく。日頃の生活の中での防災対策を意識していく。施設内の様子について地域の方に知ってもらえるようにしていく。	災害マニュアルの見直しを行い紙面だけではなく、実際に動いてみる事で過不足の確認、見直しを行う。コロナ禍が落ち着いてきたら、地域の方との交流が出来るようにし、災害時の協力が得られやすいような環境を整えていく。	6～12ヶ月
2	49	コロナウィルス感染症の蔓延により、感染症対策の為に施設外への外出をして楽しむ機会が無くなっている。また施設外の人との交流の機会も限られてしまっている。	コロナウィルス感染症の流行の状態をみながら、感染症対策を取りつつ、施設の外へ出掛ける機会を設けていく。面会についても同様に対策を取りつつ行えるようにしていく。	コロナウィルス感染症の流行の状態をみながら、飲食を伴わない外出から始めていく。入居者・職員共にワクチンの接種を実施していく。最終的にはコロナ禍前のように外食や制限のない面会が出来るようにする。	6～12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月